

学校通信

若松中央

発行 北九州市立若松中央小学校

校長 成重 純一

＜若松中央小学校 めざす子ども＞

- 言葉を大切にし、言葉でよりよい人間関係を築く子ども
- 意味やねうちを考え、感じて行動する子ども
- 目標に向かって粘り強く努力する子ども

頭のテレビに映そう！ ～4月23日 子ども読書の日～



読み聞かせ(低学年)



一斉読書



読み聞かせ(高学年)



読み聞かせ(中学年)

本年度も、ご覧のように、読み聞かせボランティアの皆さんに、低・中・高学年ごとに読み聞かせをしていただいたほか、もう1時間は、学級で一斉読書を行いました。

最初に全校放送で私が話したのは、「頭のテレビにお話を映そう」ということでした。本物のテレビと違って、本を開けば、一週間待たなくても、続きを楽しめるといことです。本当に面白くてたまらない本に出会ったときは、続きが読みたくてたまらず、食事の時間さえ惜しいと感じるほどです。

大人にとって、読書とは、趣味のレベルで語られるものですが、子どもは、そうではないことをご理解ください。将来、人間らしく幸せに、賢く、豊かに生きるために必要な準備運動です。

「別に、本なんか読まなくても生きていけるよ。」と子どもに向かって言わないのが、大人のマナーではないかと思ます。

校長室より

校長室の目の前にある藤棚の藤の花が満開となり、一年間で最高に美しくなる時期を迎えました。

若松小学校時代からある立派な藤棚です。運動会の練習期間には、見学者の休憩場所になります。

最近、食材には、年中出回っているものが増え、季節感が乏しくなったと言われます。子どもたちには、こういうところで季節を感じさせたいものです。

